スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

熊本県上天草市

自 治 体 名 ： 熊本県上天草市
担 当 課 名 ： 社会教育課
電 話 番 号 ： 0969-28-3380

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

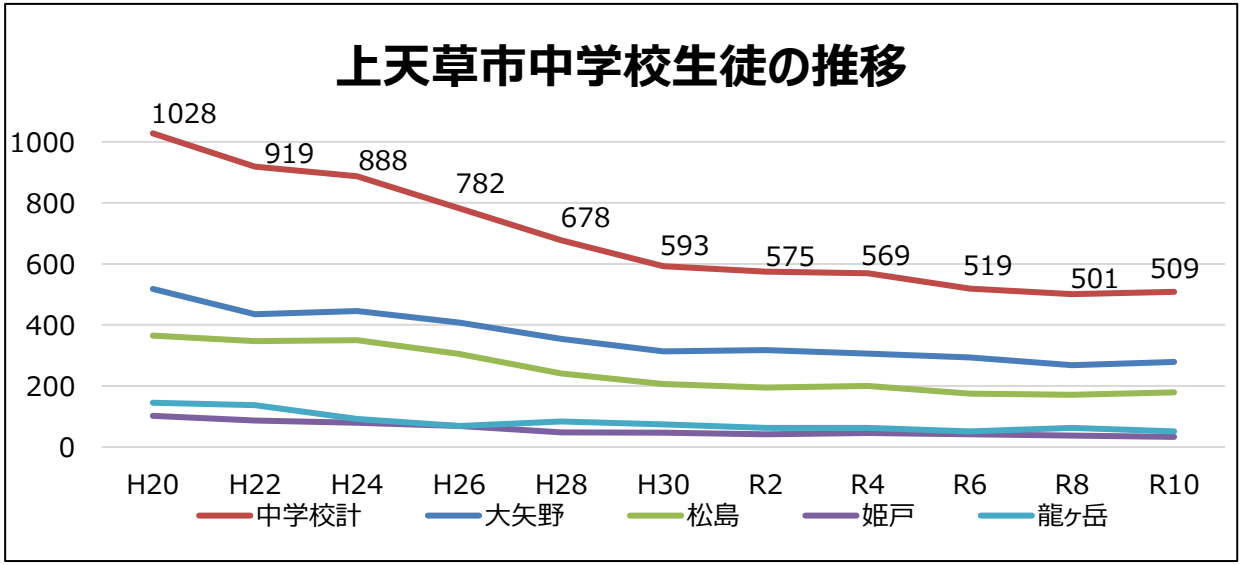
面積	126.9㎢
人口	22,924人
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	487人
部活動数 （運動部活動のみ）	26部活
地域クラブ活動数	2クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市中学校の生徒数は、平成24年度の生徒数888人に対し令和6年度は519人と369人減少（減少率41.6%）となっており、少子化の影響により著しく減少傾向にあり、部活動への加入率は61.1%となっている状況である。

また、小規模校においては、種目数や部員の確保が困難な状況が発生しており、生徒の選択肢が少なく、大会出場はもとより普段の練習に支障が生じているところで、他校と合同で部活動を維持している状況が続いている。

なお、本市における休日の部活動地域移行への課題として、①学校区を超えた部活動に関する課題、②受け皿となる組織の課題、③指導者に関する課題、④費用負担の課題、⑤大会等の運営に関する課題の5点が挙げられる。

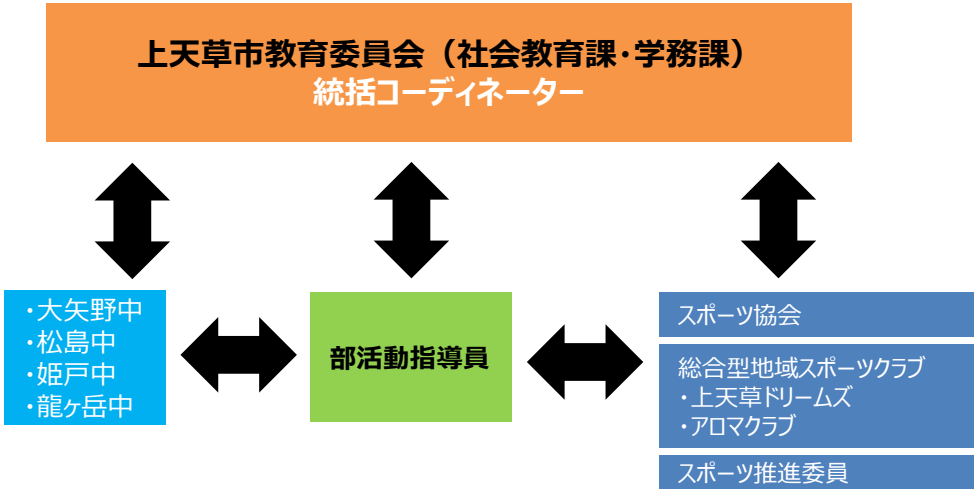


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・社会教育課（地域展開業務主管課）
・統括コーディネーター
　本市における中学校部活動の地域展開を推進するため、関係機関（市教育委員会、学校、地域スポーツ団体等）との連絡調整、地域クラブ活動の立ち上げ支援、指導者確保・研修支援、活動場所及び移動手段の調整、生徒・保護者等への情報提供と普及啓発、安全対策の助言、相談窓口業務、並びに実績報告書の作成等を行う。
・学務課（部活動主管課）

年間の事業スケジュール

令和7年　4月	● 上天草市中学生地域クラブ認定要綱策定 ● 地域クラブ（姫戸少年剣道クラブ）認定
令和7年　6月	● 地域クラブ（姫戸少年剣道クラブ）が郡市中体連出場
令和7年　7月	● 地域クラブ（姫戸少年剣道クラブ）が県中体連出場
令和7年　8月	● 市広報誌に地域展開特集記事を掲載
令和7年　9月	● 地域クラブ設立に係る保護者説明会開催（松島バレーボールクラブ）
令和7年　10月	● 地域クラブ（松島バレーボールクラブ）認定
令和7年　11月	● 地域クラブ設立に係る保護者説明会開催（天草クライム※令和8年4月から活動開始予定）
令和8年　1月	● 市内各中学校令和8年度新入生保護者説明会にて本市の取組等を説明

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		2クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1クラブ（1部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		1クラブ
全体の指導者数	2人	全体の運営スタッフ数	2人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
姫戸少年剣道クラブ	クラブチーム	剣道	・平日　0回 ・休日　49回	9:00～12:00 ※大会等出場の際はこの限りではない。	3年生　2名 1年生　1名	令和7年4月から	1人	1人（他クラブと兼務なし）	2,000円/月	全てクラブで参加
松島バレーボールクラブ	クラブチーム	バレーボール	・平日　32回 ・休日　8回	9:00～12:00 ※大会等出場の際はこの限りではない。	2年生　1名 1年生　5名	令和7年10月から	1人	3人（内、兼務2人）	2,000円/月	全てクラブで参加

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

2.実証内容と成果

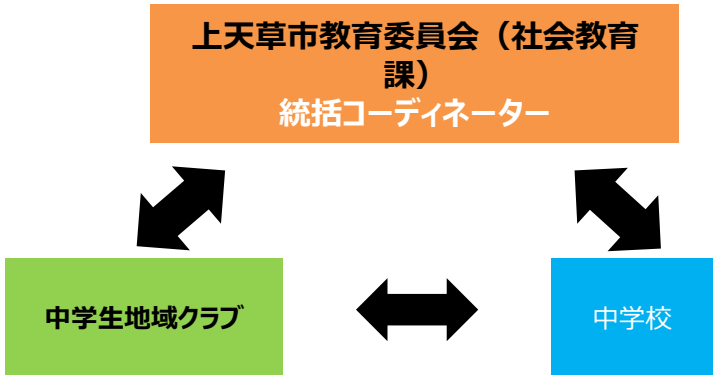
スポーツ庁

主な取組例

●上天草市中学生地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道、バレーボール
運営団体名	各クラブチームとして活動
期間と日数	剣道：月5回程度 バレー：月10回程度
指導者の主な属性	剣道：部活動指導員 バレー：地域の指導者
活動場所	剣道：姫戸体育館 バレー：松島中学校体育館
主な移動手段	保護者による送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	剣道：24,000円 バレー：24,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●社会教育課

役割：市中学生地域クラブ認定事務、指導者報酬支払、地域クラブ活動支援、関係機関との連絡調整を行う

●統括コーディネーター

役割：クラブ活動支援、指導者へのヒアリング、活動場所の調整、関係機関との連絡調整等を行う

●クラブ指導者　2名

役割：生徒への指導、保護者への情報共有、関係機関との連絡調整等を行う

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○ 関係団体・市区町村等との連絡調整
○ 運営団体・実施主体の体制整備や質の確保に対する取組
○ 総括コーディネーターやコーディネーター、運営団体のマネジメント人材の育成に関する取組
○ 地域スポーツクラブの活動要件等の明確化を図る取組
○ 地域スポーツクラブ活動の運営の効率化等に関する取組
○ 責任の主体の明確化に関する取組

取組の成果

県主催の研修会や天草地域のシンポジウムに参加し、他市町と情報を共有したり、連絡体制の構築を図った。

また、地域クラブ活動開始前に指導者への説明を丁寧に複数回行い、持続可能な運営ができる体制の整備を行うとともに、上天草市中学生地域クラブ認定要綱を策定し、地域クラブの活動要件及び認定要件等を明確化した。

なお、地域クラブの指導者確保と発掘に繋げるため、指導者講習会を実施し、本市の指導者バンクの整備を行った。

今後の取組における課題

研修会等への参加、指導者説明、認定要綱策定、指導者講習会等の取組成果を踏まえ、今後は 運営ルールの明確化と情報共有の強化、指導者の確保・育成、参加機会の公平性向上、安全と質の確保、施設調整と財源の安定化、データに基づく改善、広報強化、法令遵守と権利保護の徹底 が課題であり、これらを体系的に整備して持続可能な地域クラブ運営につなげていく必要がある。

課題への対応方針

運営手続や情報共有の仕組みを明確化して連携を強化するとともに、指導者の育成・定着、参加機会の公平性、安全管理と活動の質保証、施設や用具の適正運用、安定的財源の確保、データに基づく継続的改善、広報の強化、法令遵守と権利保護の徹底といった課題に対し、それぞれの体制を整備・強化することで、持続可能な地域クラブ運営を実現していく。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

○ 地域クラブ設立に向けた保護者説明会の実施
○ 地域クラブ認定に係る申請書類作成支援
○ 地域クラブ活動に係る学校及びクラブ指導者との協議の場の設置
○ 地域クラブ活動実績確認及び指導者報酬支払事務
○ 各地域クラブの活動状況確認及び指導者へのヒアリング
○ 広報掲載資料の作成
○ 各中学校長との意見交換の実施
○ 各中学校部活動顧問へのヒアリング
○ 郡市及び県中体連申請事務
○ 活動場所の調整事務
○ 次年度新1年生保護者に対する説明資料の作成　　等

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

○ 事務手続き・情報共有の効率化
上天草市中学生地域クラブ認定要綱に基づき、申請書類や報告書等の様式を統一し、事務負担を軽減を図った。
○ 指導体制の強化
指導者講習会を開催し、指導の質の平準化を図った。
○ 活動環境（用具）の効率的運用
中学校の好意により、地域クラブとして大会参加する際のユニフォームを借用することで活動に係る経費削減に取組んだ。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

設立に係る保護者説明会開催時に地域クラブとしての認定要件等を資料を基に以下の内容について説明を行った。
① 中学生の 自主性・自発性 を尊重した活動であること。
② 学校部活動の 教育的意義を継承・発展させる活動であること。
③ 持続可能な仕組みで運営していること。
④ 中学生の 健全な成長に資する活動であること。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

地域クラブ活動において事故やトラブルが発生した場合には、生徒の安全確保を最優先とし、迅速かつ適切な対応を行う体制を整備している。
まず、活動中に事故が発生した際は、指導者が直ちに活動を中止し、応急処置を行うとともに、必要に応じて救急要請を行う。その後、速やかに保護者へ連絡を行い、状況の共有を図る。
併せて、教育委員会（社会教育課）を窓口として、学校及び関係機関へ報告する連絡体制を構築しており、重大事案については関係者間で情報を共有し、組織的な対応を行う。
また、事故発生後は、指導者・教育委員会・関係者による事後検証を実施し、発生要因の分析と再発防止策の検討を行う。必要に応じて指導方法や運営体制の見直しを行い、安全管理体制の改善につなげる。
さらに、事故やトラブルを未然に防止するため、活動開始前の安全点検の実施、危険箇所の確認、気象状況の把握、熱中症対策の徹底等、日常的な安全管理を行うとともに、指導者への研修や情報共有を通じて、安全意識の向上を図る。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

本年度は、指導者の質の向上と安定的な確保を図るため、スポーツ協会が主催する指導者講習会への参加を促進するとともに、地域クラブ指導者への周知を行った。

また、指導者バンクを整備し、地域内の指導者情報を集約することで、各クラブのニーズに応じた人材の確保と配置ができる体制づくりを進めた。さらに、指導者に対して活動開始前の説明や情報共有を行い、安全管理やハラスメント防止を含めた共通認識の醸成を図った

今後の取組における課題

現状では、指導者数が十分とは言えず、特定の人材に負担が集中している状況が見られる。

また、指導者の資質についても個人差があり、指導レベルの平準化や継続的な研修機会の確保が課題である。

さらに、若手や女性など多様な人材の参画が進んでおらず、将来的な指導者不足への対応も必要である。

取組の成果

指導者講習会への参加により、スポーツハラスメントに関する理解が深まり、安心・安全な活動環境づくりに対する意識向上につながった。

また、指導者バンクの整備により、地域の人材情報が可視化され、今後の指導者確保に向けた基盤を構築することができた。

加えて、学校関係者や地域団体との連携を通じて、地域全体で指導体制の質を高めていく機運の醸成につながった点が成果である。

課題への対応方針

指導者講習会の継続的な実施や内容の充実を図り、資質向上と指導の標準化を進める。

併せて、指導者バンクの機能強化により、地域人材の掘り起こしとマッチングを推進し、指導者の確保につなげる。

さらに、若手人材の参画促進や負担軽減の仕組みづくり、広報の強化など、多角的な取組により持続可能な指導体制の構築を目指す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

本市では、地域クラブ活動を持続的に運営していくため、多様な人材の発掘と適切な配置に向けた取組を進めている。具体的には、スポーツ協会加盟団体の指導者やジュニアクラブの指導者に加え、学校部活動の指導経験者、退職教員、地域の競技経験者等、幅広い層に対して参画を呼びかけている。

また、指導者バンクを整備し、登録者の競技歴や指導経験、活動可能時間などの情報を一元的に管理することで、各地域クラブのニーズに応じた人材のマッチングを行う体制づくりを進めた。

さらに、指導者講習会の開催や関係団体との連携を通じて、地域内の指導者間のネットワーク形成を図るとともに、若手人材や女性指導者の参画促進に向けた周知・啓発にも取組んでいる。

今後は、広報の強化や学校との連携により、地域に潜在する人材の掘り起こしを進めるとともに、指導者の負担軽減や活動環境の整備を図ることで、継続的に関わることができる体制の構築を目指す。

指導者研修の内容

研修名	スポーツハラスメントの防止について
講師	熊本市教育委員会教育政策課　橋爪富士雄　氏
研修内容	● 熊本市でのアンケート調査内容及び認識の実態等の紹介 ● ハラスメントに気付く・・・ハラスメントとは何かを知る ● ハラスメントはどのようにして起こるのか 例）私語をやめない子どもたちへの対処法 グループ討議「被害を訴えたい・指導の改善をお願いしたい」 ● ハラスメントはどうやって解決するか

指導者研修受講者の声

- 指導者の価値観を変えることが大事だと感じた。
- 学校現場とスポーツ現場の実例を加えての話だったので、自分を振り返る機会となった。
- 指導者がどのようなモチベーションを持ち指導していくのか、子どもや競
- 技者の年齢層に合わせた指導が必要と感じた。
- 指導者の意識改革の必要性を感じた。
- 自分の指導の再確認や振り返りができた。
- 指導者として、競技者として、保護者として、いろんな目と耳で判断しなくてはいけないと感じた。
- これまでの指導者時代、数々のハラスメントを行ってきたなと猛省するばかり。子どもたちや保護者の気質も変化しているので、気遣いながら指導しなければならない。昨今、ハラスメント研修はとても意義あるものだと感じた。
- 指導する上で、気を付けることができてよかった。とても勉強になった。
- グループ討議もあり、みんなの意見が聞けてよかった。
- 指導者のハラスメントになる前の指導の仕方を考えられるようになった。
- コンプライアンス等の内容について、数多くあるということを理解できた。
- ハラスメントによる問題が起きてしまうと、解決していくのが大変難しいと感じた。解決までの細かい流れは知らないことがあったので、ためになった。
- ハラスメントがどのようにして起こるのかというところを具体的に知れた。今後の問題解決に活かしていきたい

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

指導者の資格取得促進に向けた取組

本市では、指導者の資格取得を積極的に促す体制はまだ十分とは言えないものの、スポーツ協会への補助を通じて、審判資格や指導者資格の取得に必要な講習受講料や登録料の一部を支援しており、資格取得に取り組みやすい環境づくりを進めている。

また、地域クラブ指導者に対しては講習会や研修会への参加を促し、実際の指導場面を踏まえた安全管理やハラスメント防止などの基礎的な知識の習得を図ることで、資格の有無に関わらず一定水準の指導力の確保に努めている。

さらに、指導者バンクを整備し、資格の有無や競技歴、指導経験等の情報を一元的に管理することで、クラブのニーズに応じた適切な人材配置を行うとともに、資格保有者が実際の活動に関われるような仕組みづくりを進めている。

今後は、資格取得に関する情報提供の充実や講習会への参加機会の拡充を図るとともに、費用負担の軽減や活動の場の確保といった支援を行うことで、資格取得への意欲向上につなげていく。

併せて、複数の指導者で役割分担を行う体制やクラブ間での指導者の共有を進めることで、個々の負担を軽減しながら、継続的で質の高い指導体制の構築を目指す。

指導者総数	49人
資格所持指導者数	16人
本年度資格を取得した指導者	0人

平日・休日の一貫指導に関する取組

本市では、平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動が担うことを基本とした役割分担により運営しているが、一部のクラブにおいては、同一の指導者が平日・休日の双方に関わることで、指導内容に一貫性を持たせた取組が行われている。

具体的には、平日の学校部活動で行う基礎練習や技術指導と、休日の地域クラブ活動における実践的な練習や試合参加が連動するよう工夫されており、生徒が継続的かつ段階的に技能向上を図ることができる環境づくりが進められている。一方で、全てのクラブにおいて一貫指導が実現しているわけではなく、学校と地域クラブ間で指導方針や活動内容の共有が十分でない場合も見られることから、指導内容に差が生じることが課題となっている。

このため今後は、学校と地域クラブとの連絡・調整をより一層強化し、指導計画や活動内容の共有、定期的な情報交換の場の設定などを通じて、平日と休日を通じた統一的な指導体制の構築を段階的に進めていく。

また、指導者間での役割分担や複数指導者による連携指導の導入、クラブ間での人材の共有などを推進することで、指導の質を維持しながら指導者の負担軽減を図り、持続可能な運営体制の確立を目指す。

2.実証内容と成果

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

本市では、地域クラブ活動の推進にあたり、スポーツ協会、総合型地域スポーツクラブ、学校、各競技団体等との連携を図り、教育委員会（社会教育課）が中心となって関係者間の調整を行っている。具体的には、スポーツ協会と連携した指導者講習会を実施し、地域クラブ指導者に加えて、既存のスポーツ団体やジュニアクラブの指導者が参加できる機会を確保した。

また、地域クラブ設立にあたっては、学校との協議を重ね、活動場所の確保や大会参加に関する手続きの調整を行うとともに、保護者説明会の開催を通じて理解促進と合意形成を図った。さらに、統括コーディネーターが各団体間の窓口となり、日常的な連絡調整や課題の共有を行うことで、円滑な運営体制の構築に努めた。

取組の成果

スポーツ協会と連携した講習会の実施により、地域クラブ指導者と既存のスポーツ団体指導者が同じ場で学ぶ機会が創出され、指導に対する価値観や安全意識の共有が進み、地域全体の指導力向上につながった。

また、学校や関係団体との連携を通じて、地域クラブ活動に対する理解が深まり、地域全体で子どもたちのスポーツ環境を支える意識の醸成が図られた。加えて、連絡体制が整備されたことで、活動場所の調整や大会参加手続きなどの運営面が円滑に行えるようになったことも成果である。

今後の取組における課題

現状では、スポーツ協会との連携は一定程度進んでいるものの、総合型地域スポーツクラブとの連携については十分とは言えず、活動内容の共有や役割分担が明確になっていない状況が見られる。

また、団体ごとに運営目的や活動方針が異なることから、連携が個別的・一時的な対応にとどまる傾向があり、継続的かつ組織的な協力体制の構築が課題となっている。さらに、人材や施設、情報の共有が十分に行われておらず、地域資源を有効に活用しきれていない点も課題である。

課題への対応方針

今後は、スポーツ協会に加え、総合型地域スポーツクラブや学校、地域団体などが参加する協議体を設置し、定期的な情報共有や課題の協議を行う仕組みを構築する。

また、各団体の役割分担を明確化し、地域クラブ活動における指導、人材育成、施設利用、広報等の分野ごとに連携体制を整理する。
さらに、合同イベントや体験会、合同練習の実施等、共同事業を展開することで実践的な連携を深めるとともに、指導者やスタッフの相互派遣、施設や用具の共同利用を進め、地域資源の有効活用を図る。

加えて、統括コーディネーターを中心とした連絡調整機能を強化し、日常的な情報共有を円滑に行うことで、地域全体で子どもたちを支える持続可能なスポーツ環境の構築を目指す。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

本市では、地域クラブ活動の立ち上げ期における運営の安定化を図るため、指導者謝金に対する支援を実施し、地域クラブが円滑に活動を開始できる環境整備を行った。
具体的には、指導者に対する謝金の一部を市が負担することで、指導者の経済的負担の軽減と指導体制の確保を図るとともに、各クラブが適正な会費設定を行えるよう支援した。
また、保護者負担の急激な増加を抑える観点から、会費水準の設定について助言を行い、持続可能な運営を見据えたクラブ運営体制の構築を支援した。

取組の成果

指導者謝金への支援を行ったことにより、指導者の経済的負担が軽減され、継続して指導に関わりやすい環境が整った。その結果、指導者が安定的に確保され、地域クラブ活動を継続して実施できる体制の構築につながった。
また、クラブ運営に係る費用の一部を市が支援することで、活動開始当初における財政的な不安が軽減され、必要な備品の確保や活動環境の整備が円滑に進み、地域クラブの立ち上げをスムーズに行うことができた。
さらに、会費についても、過度に高額とならない水準での設定が可能となり、保護者の負担感の軽減につながったことで、生徒が継続して参加しやすい環境が確保されたほか、新規参加の促進にも寄与した点が大きな成果である。

今後の取組における課題

1　支援が終わった後の運営費の確保
時限的支援が終了した後、クラブが安定して活動を続けるための財源をどう確保するかが大きな課題。
2　指導者の確保と育成
地域の指導者はまだ十分ではなく、新しい指導者を育てたり若い人材を確保したりする必要がある。
3　地域のニーズに合ったプログラムづくり
地域ごとに参加者の状況やニーズが違うため、より参加しやすく魅力的な活動提供が求められる。

課題への対応方針

1　クラブの自立運営の支援
会費設定の見直しや収入源の多様化について助言し、支援終了後も持続できる運営体制を整える。
2　指導者の確保・育成
地域での人材発掘、研修機会の充実、若手指導者の参画促進等により、指導者の数と質の確保を図る。
3　地域ニーズに応じた活動づくり
アンケートや聞き取りによりニーズを把握し、その結果に基づいたプログラムづくりや情報発信の強化を行う。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年度に上天草市が実施した地域スポーツクラブ活動への移行実証事業では、少子化により中学校部活動の維持が困難となる中、地域で生徒のスポーツ活動を支える体制づくりを重点的に進めた。まず、市教育委員会を中心に推進体制を整備し、総括コーディネーターが学校・指導者・地域団体との連絡調整を担いながら、地域クラブ認定要綱の策定や書類様式の統一等、運営のルールづくりと事務手続きの効率化を図った。

また、保護者説明会の開催、活動場所の調整、大会申請事務の支援など、立ち上げ期のクラブ運営を市が積極的にサポートした。その結果、剣道とバレーボールの2つの地域クラブが新たに活動を開始し、生徒が希望する種目に継続して取り組める環境の確保につながった。

さらに、スポーツ協会と連携したハラスメント防止研修の実施や指導者バンクの整備等、指導者の質向上と人材確保に向けた取組も進展した。

地域の複数団体が共通の学びを共有したことで、地域全体で指導体制を高める機運が生まれた点は大きな成果である。

一方で、クラブの財源確保、指導者不足、総合型クラブとの連携強化、平日・休日の一貫指導体制の整備、移動手段や費用負担といった課題も明確となった。これらは持続的な地域クラブ運営に向けて今後重点的に取組むべき事項である。

総じて、本年度は地域移行に必要な体制整備と地域クラブの実践が同時に進み、今後の発展に向けた基盤が形成された一年であった。

●成果の評価

本市における地域スポーツクラブ活動への移行実証事業では、少子化により中学校部活動の維持が困難となる中、生徒のスポーツ活動の機会を地域で支える新たな体制の構築に取組、着実な成果を上げることができた。

具体的には、教育委員会を中心とした推進体制の整備や統括コーディネーターの配置により、学校、指導者、地域団体との連絡調整機能が強化され、地域移行を推進する基盤が確立された。

また、地域クラブ認定要綱の策定や指導者バンクの整備により、活動ルールや人材確保の仕組みが明確化されるとともに、剣道およびバレーボールの地域クラブが実際に活動を開始し、生徒が希望する種目に継続して取組める環境の確保につながった。

さらに、指導者講習会の実施や関係団体との連携により、指導者の資質向上と安全意識の定着が図られ、地域全体で子どもを支える意識の醸成にもつながった。

このように、本年度は「体制整備」と「地域クラブの立ち上げ」という実践の両面が同時に進展し、地域移行を本格的に進めていくための基盤が形成された一年であったと評価できる。

●今後に向けて

地域クラブ活動を持続可能なものとして発展させていくためには、いくつかの重要な課題への対応が求められる。

まず、指導者の確保と育成については、現状では人材が限られていることから、指導者バンクの機能強化や研修機会の充実、多様な人材の参画促進により、量と質の両面から指導体制の強化を図る必要がある。

また、財政面においては、現在の支援が時限的であることを踏まえ、会費収入や地域からの支援等を活用した自立的な運営体制の構築を進めていくことが重要である。

さらに、平日と休日を通じた一貫指導体制の整備や、総合型地域スポーツクラブ等との連携強化、活動場所や移動手段の確保など、地域全体で支える仕組みを一層充実させていく必要がある。

今後は、これらの課題に段階的に対応しながら、地域クラブ数の拡充と活動内容の充実を図り、生徒一人ひとりが希望するスポーツに継続して取組める環境のさらなる充実を目指す。あわせて、学校・地域・行政が連携した取組を継続・発展させることで、地域全体で子どもたちの成長を支える持続可能なスポーツ環境の確立につなげていく。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

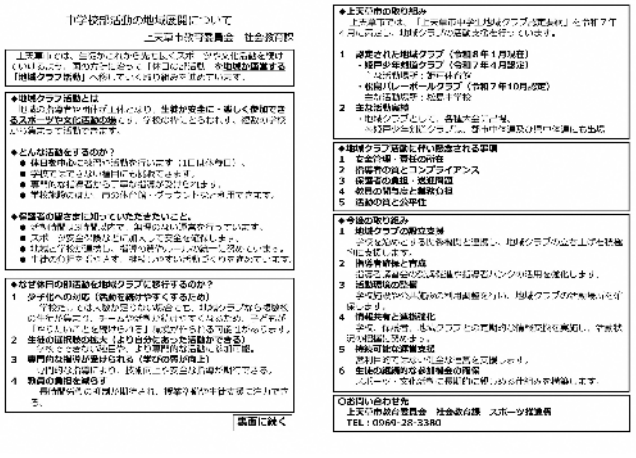
参考資料



【上天草市広報8月号掲載記事】



【地域クラブ試合参加風景】



【新1年生保護者説明会資料】



【地域スポーツクラブ設立に係る保護者説明会】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

姫戸少年剣道クラブにおける合意形成プロセス

●目的
姫戸中学校剣道部を中心に近隣中学校の生徒が安全・継続的に剣道に親しめる地域クラブ活動へ移行する。

●現状
姫戸中学校剣道部は現在、部活動指導員によって指導が行われている。
この指導員は、上天草市姫戸町で30年以上にわたり小学生を対象に活動している「姫戸剣道クラブ」の指導者でもあることから、小学生から中学生まで一貫した指導ができる体制を整えるため、従来の学校部活動から地域クラブとしての運営へ移行することについて、指導者、学校及び教育委員会と協議を進めてきたところである。

●ステークホルダー
生徒、指導者、保護者、学校、教育委員会

●合意形成
令和6年11月　学校長より情報提供
令和6年12月　指導者及び教育委員会との協議
令和7年　1月　指導者、学校との協議（活動日、活動時間、活動場所　等）
令和7年　2月　保護者説明会（地域クラブの活動要件、活動日、活動時間、活動場所　等）

●活動状況
令和7年　4月　上天草市中学生地域クラブ認定要綱策定
　　地域クラブ活動開始（フォローアップ開始）
令和7年　6月　郡市中体連出場
令和7年　7月　県中体連出場
令和7年　8月　市広報誌に特集記事を掲載
令和7年11月　指導者講習会受講

●今後について
姫戸剣道クラブには小学生が多く所属しており、中学校にも剣道を続けられる場をつくったことで、小学生から中学生まで一貫して剣道を学べる環境が整った。
これにより、子どもたちが長く剣道を続けられるだけでなく、地域全体で継続的に育てていく体制ができた。今後は、小中一貫指導を軸に、指導体制の強化や地域との連携を進め、持続的に発展する地域クラブを目指していく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

内　　容	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
アンケート調査								
推進計画及び実施計画策定								
推進体制の確立								
指導者バンクの整備								
地域クラブ認定								
施設利用調整								
休日の地域展開								
平日連携								
大会参加見直し								
多種目化・拠点化								
評価・改善								

赤色セル：実績
黄色セル：計画